

ハートライナー倶楽部

Heartliner Club

皆様のヨーロッパ生活を応援する NX (NIPPON EXPRESS) の会報誌

欧州版

3

vol. 188
March 2022

白と青が織りなす美の世界
デルフト陶器の本場を旅する
(オランダ)

新型コロナウイルス (Covid-19) の影響で、アトラクションやレストランなどの営業時間、イベントの開催時期が変更されている場合がございます。事前にご確認ください。

03 Travel

白と青が織りなす美の世界
デルフト陶器の本場を旅する 〈オランダ〉



07 Europe Now

ヨーロッパの街から

- ハンガリー ● ブダペスト 「ハンガリー貿易と観光博物館」
- イタリア ● ミラノ 「コルティエリ・アベルティ」
- スペイン ● バレンシア 「火祭り職人、ラモン・セラノ氏」
- ドイツ ● ドレスデン 「クンストホーフパッサージュ・ドレスデン」
- ポーランド ● グログベック 「フランシスコ修道院」
- フランス ● タルヌ県 「モーリアック城」



13 Wine

今月の1本

グリファルコ、ダマスキート・アリアニコ・テル・
ヴルトウレ・スベリオレ DOCG (赤)



14 Healthy Life

なるほど！ヘルシーライフ

プロッコリはお好き？



15 Do you know?

ご存じですか？

自動車の歴史

NX 欧州 (旧・欧州日本通運) Heartliner Club 事務局

総合問い合わせ先：

(国番号) 49 (0)211 90495 0

ご住所の変更や購読中止など、購読についてのご連絡は、裏表紙にあるお住まいの地域の支店までご連絡ください。

発行者：NX欧州 (旧・欧州日本通運)

【掲載記事および広告掲載に関するお問い合わせ】 編集・制作 A Concept Limited e-mail: HLC@a-concept.co.uk

- 本誌掲載の記事・写真・イラストの無断転載を禁じます。
- 本誌に掲載されている広告内容に関して、発行者および編集者は一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
- 掲載内容には万全を期しておりますが、取材後の変更等もございますので、ご利用される場合はご自身でご確認ください。尚、記事の内容をご利用されて生じた損失やダメージに関しては、発行者および編集者は一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。



Delft

 *The Netherlands*

白と青が織りなす美の世界 デルフト陶器の本場を旅する

オランダが栄華を極めた17世紀に、政治面、科学面、そして芸術面でも最先端を突き進んだ街、デルフト。当時、富裕層に人気を博していた中国磁器に似せて作られたデルフト陶器を世に送り出し、白と青が織りなす美の世界を一般の人にも手の届くようにした功績は大きい。現在でも人気の高いこの陶器が、本場デルフトではどのような存在なのかを、この街の魅力と共に紹介する。





中国磁器の写しだったデルフト焼

白地に清々しい青が映えるデルフト陶器。デルフト焼とも呼ばれ、現在ではオランダ国内にとどまらず世界的な人気を得ているが、もともとはデルフトの街で発案された技法ではない。

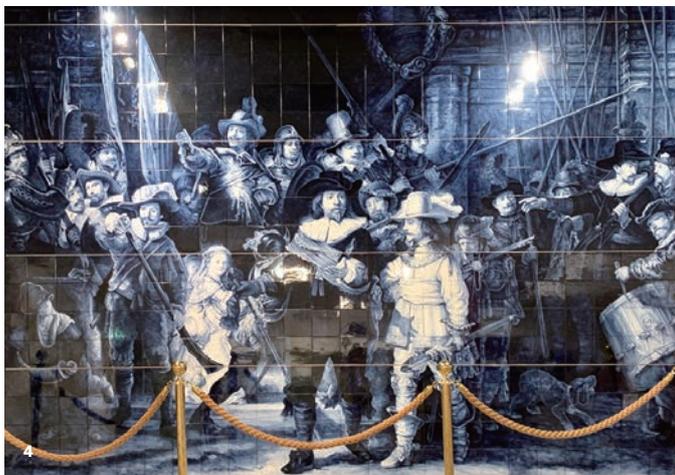
デルフト陶器のルーツは、陶器の素地にスズ釉をかけるイスラム陶器にある。14世紀にスペインに伝わったイスラム陶器は、スペイン独自の陶器イスパノ・モレスクとなり、それがマヨルカ島を経由してイタリアやフランスに輸出されたため、マジヨリカ陶器と呼ばれるようになった。14世紀末にはイタリアでも独自のマジヨリカ陶器が作られるようになり、その技法は16世紀後期にアントワープを経てオランダに伝わった。最終的にデルフトにその技法が伝わり、人気を博し始めたのは、17世紀も中頃のことである。つまりデルフトで焼物が盛行するまでに、技法そのものはずでにペルシャ周辺からヨーロッパ大陸を長々と北上してきていたのである。

デルフトにマジヨリカ技法が伝わった頃のオランダは、世界を股にかけた交易で栄華を極めていた。アジアからオランダに戻ってくるオランダ東インド会社の船には、高価な香料などと共に中国磁器が積み込まれ、富裕層に人気をもたらした。しかし、中国（明朝）情勢に陰りが見え始め、中国磁器の輸入が途絶え出すと、今度は腕利きのデルフト陶工たちが頭角を現した。輸入不足分を埋め合わせるために中国磁器を模倣し、絵付けをした後に透明の釉薬をかけて、磁器に似せた陶器を作り始めたのだ。それこそが現在デルフト焼と呼ばれるものの始まりである。日本の伊万里焼の写しがデルフトで制作されるようになったのも、まさにこの頃のことである。

唯一残る窯元ロイヤルデルフト

デルフトで陶器制作が盛んになった17世紀から現在に至る経緯は、現在も伝統的な工法で陶器生産を続けている窯元「ロイヤルデルフト」で詳しく知ることができる。最盛期、この街にはデルフト陶器工房が33カ所もあったが、その中で現在も残っているのは、このロイヤルデルフト1社のみである。

1653年に創設された同社は、高品質の伝統工芸を生産するだけでなく、オランダの歴史におけるデルフト焼の重要性を伝えることにも力を入れている。絵付け作業や工場見学が可能であり、併設されているミュージアムでは、中国磁器を模倣していた頃から現在の独自スタイルに至るまでの品々や、オランダ王室との関わりで制作された記念皿、また、オランダ人画家レンブラントの名作『夜警』を480枚のデルフトタイルで模写した作品



も展示されている。間近で見ると美しい青色や緻密な筆遣いは、ロイヤルデルフトの技術力の高さやデルフト焼の無限の可能性を見取するのに十分だろう。

ロイヤルデルフトは、長い歴史の中で「白地に青」以外のスタイルも模索した他、建物用タイルの生産も行ってきた。ミュージアムでは、一般にはあまり知られていない、このようなデルフト焼の別の一面も見られるのが醍醐味である。

本場ならではの品揃え

デルフトに来たからにはデルフト焼を購入したいと思われる方も多いだろうが、それは考える以上に大変なことかもしれない。選択肢があまりに多すぎて目移りしてしまうからである。

前出のロイヤルデルフトの商品は、さすがオランダ王室に献上される伝統工芸だけあって良質である。ラインナップは、置物から食器までと幅広いが、特に、小さな挿し口が複数付いたチューリップ用花器や、正方形のシンプルな飾りタイルは、実にオランダらしい土産となるだろう。モチーフは風車や草花といったクラシックなものが多いが、モダンな置物や食器も新しく開発されており、日々の食卓を彩るスタイリッシュなシリーズも多く販売されている。手描きの商品はかなり高価だが、絵が転写された商品は比較的求めやすいので、予算に合ったものを探すといいだろう。なお、真正正銘のロイヤルデルフト製商品には、必ず裏に刻印が入っている。

「デルフト陶器」は保護された商標登録ではないため、必ずしもデルフト産である必要はない。例えば、1980年代にオランダ中部の街ブッテンで設立されたデルフト陶器工房「ハイネン」がそれに当たるが、だからといって同社



製品の品質が劣るといったことはない。ハイネンは、ロイヤルデルフト同様豊富なラインナップを有しており、デルフト中心地にも店を構えているので、ぜひ立ち寄ってみるといいだろう。せっかくデルフト焼を購入するのだから世界でたった一つの物が欲しい、ということならば、デルフト新教会の足元にある「デ・ブラウエ・テュルプ」に足を運ぶのも良いだろう。1997年に創設された新しい工房だが、伝統的な技法でデルフト陶器を生産しており、名前や記念日を入れたオリジナルのものも制作してくれる。同工房の隣には「デ・カンデラール」という小さな別の工房もあり、そこでもまた似て非なる美しい商品が作られている。長い歴史を持つデルフト陶器となれば、アンティークも数多く出回っている。骨董屋はデルフト中心街に数軒あるが、マルクトの脇に店を構える「デ・ケルスコルフ」は、年代

を示すシールが貼られたデルフト焼タイルを多数取り扱っている。80歳を優に超える「デルフトで最も高齢な店主」に温かく見守られながら、200年、300年と時間を経たタイルの絵を一枚ずつ眺めるのは、それだけで楽しい体験である。

アンティークないしヴィンテージのデルフト陶器は、デルフト中心街の運河沿いで4〜10月の毎週土曜日に開催される骨董市でも探すことができる。玉石混淆であるが、さすが本場だけあって、時に味わい深い逸品が買い得な値段で売られているのに出くわすこともあり、決して侮れない。数百年経過した素朴なモチーフのタイルは、額装するとさらに成熟した味が引き出され、ぐっと引き立つ。

なお、デルフト陶器は新品・古物関係なく、磁器に比べて柔らかく、脆い面がある。特に飾り皿は、果物の汁などが釉の割れ目にしみ込んでしまうとシミになる可能性がある。食器としてデルフト焼を使用したい場合は、実用食器として生産されている商品を購入しよう。

焼物だけではないデルフトの魅力

デルフトは、陶器以外にも一見に値する街である。何とんでも『真珠の耳飾りの少女』などの作品で世界的に名高い画家フェルメールの出身地であり、中心街にある芸術家ギルド「聖ルカ組合」の建物は、フェルメールセンターとして同画家の作品や生涯を紹介している。またフェルメールの生家は、現在では彼の父親が営んでいた宿屋と同じ「フリーヘンデ・フォス」という名称のレストラン兼ホテルとなっており、17世紀当時の雰囲気をうまく演出している。

この街はまた、オランダ独立の立役者であり、事実上のオランダ初代君主であるオラニエ公ウィレム1世が晩年を過ごした地でもある。同

NEX NIPPON EXPRESS (NEDERLAND) B.V.
 海外引越、国内引越、欧州内引越、事務所移転、ジェットパック、シーパック

お問い合わせ

NXオランダ (旧・オランダ日本通運) **アムステルダム引越センター** AMSTERDAM REMOVAL CENTER: CONTOUR AVENUE 31, 2133 LD HOOFDDORP
 Tel: +31 (0)20-500-5200 Fax: +31(0)20-500-5210 Web: www.nipponexpress.com/moving/nl E-mail: NENL-Removals@nipponexpress.com

オランダ海外引越

★日本人スタッフご案内の安心引越
 下見、輸出入手続きのご説明の際は必ず日本人スタッフが参ります。

★梱包!!! 何でもお任せ下さい
 家具、家電はもとより、食器、ワインボトルまで、豊富な梱包資材で家財なら何でも梱包いたします。

★AEO認可取得
 欧州進出の日系企業で初のAEO認可をオランダ税関から取得致しました。
 (AEO: Authorized Economic Operator)

オランダ税関からも認められました。

1 ハイネン社のクラシックな絵柄の陶器 2 17世紀から唯一残る窯元ロイヤルデルフト 3 窯元のミュージアムで作業する絵付師 4 480枚のデルフトタイルで模写された『夜警』 5 街にはデルフト焼に触発されたアートがたくさん 6 黄金時代からの品々が所狭しと並ぶ骨董屋 7 昔ながらの運河が何本も流れるデルフトの街 8 プリンセンホフ博物館内にある、オラニエ公暗殺時の弾痕 9 デルフト焼のカップとタイルでティータイム 10 カフェ「ケック」のハーフ・ランチプレート 11 タイルでできた1698年の地図には現存する建物も多く見られる 写真：© lbuki&Pen



- デルフト観光案内所
www.delft.com
- デルフト陶器工房ハイネン
www.heinendelftsblauw.nl
- デ・ブラウエ・テュルプ
https://idbuip.nl
- デ・カンデラール
www.candelaer.nl
- デ・ケルスコルフ
Markt 2, 2611 GT D dft
- フリーヘンデ・フォス
https://liegendevos.nl
- プリンセンホフ博物館
https://rijnpenhof-delft.nl
- カフェ・ケック
https://ek@delft.nl

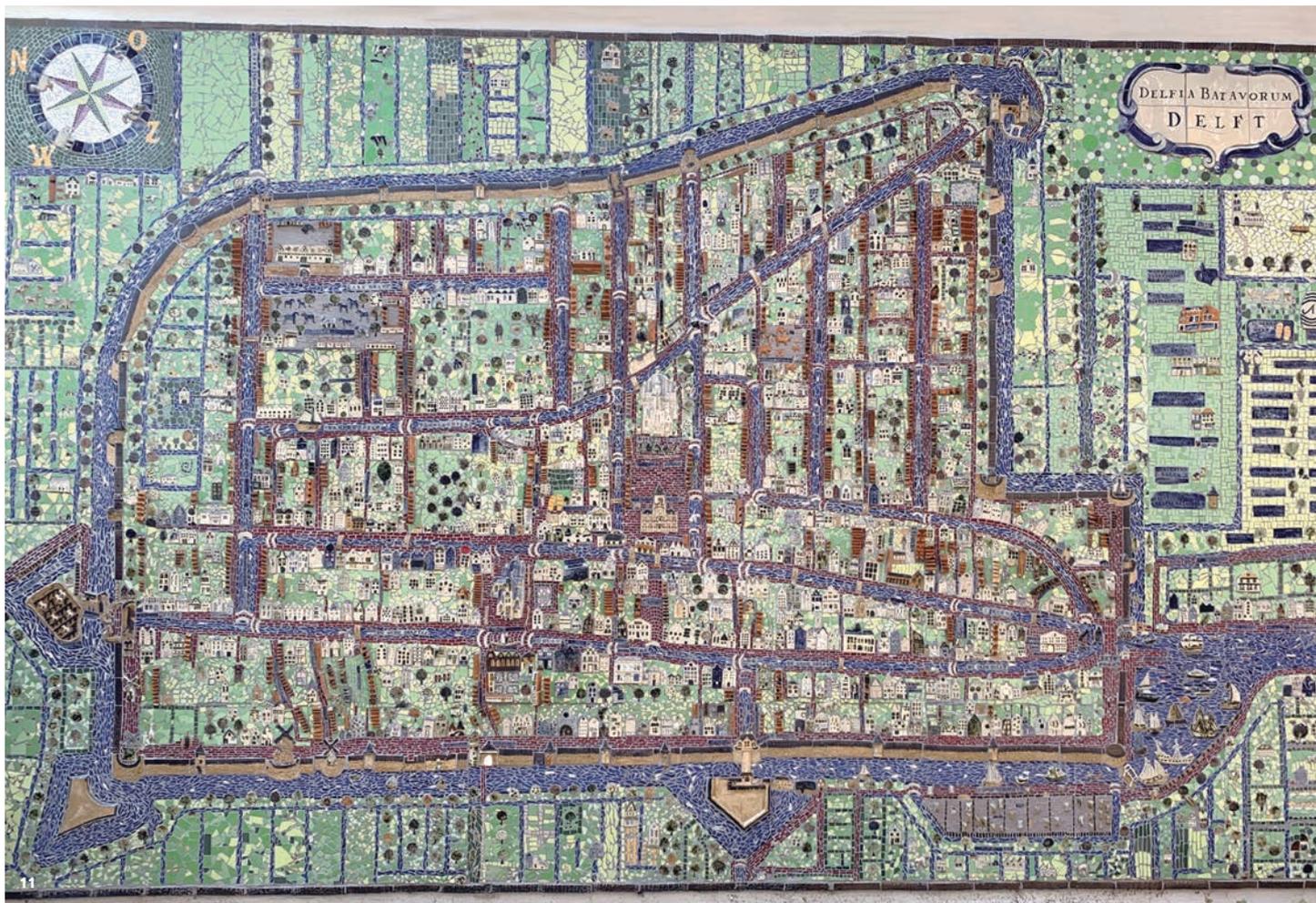
決して大きくはないが、歴史の輝く珠玉を街のあちこちで目にする事ができるデルフトは、オランダの旅にぜひとも組み込みたい街である。

(東風伊吹)

オランダ黄金時代に花咲き、世界に名を広めたデルフトだが、現在でも名門デルフト工科大学を擁していることから学生が多く、活気あふれる小都市であり続けている。街角のあちこちに設置されたデルフト焼に触発されたオブジェや、フェルメールの絵画の中に入り込んでしまったようなレンガと運河の街並みを見ながら散策すると、おしゃれなセレクトショップや雰囲気の良いカフェ・レストランが非常に多いことに気付くだろう。中でもお薦めしたいのは、デルフト新教会を見上げる運河沿いにあるカフェ「ケック」である。朝8時半から夕方までオープンしており、おいしいコーヒーと手作りケーキ、そして、奇抜だが意外に落ち着くインテリアが楽しめる。ランチメニューはハーフサイズもあるのが嬉しい。

大学都市の活気

公がスペイン側の刺客によって暗殺された居館は、現在「プリンセンホフ博物館」となっており、射殺されたときに階段下の壁に刻まれた弾痕は、440年近く経った現在でもはつきりと残っている。同博物館では常設展に加え、デルフトにちなんだ優れた特別展も継続的に開催しているので、ぜひとも立ち寄りたい。





Hungary

1 19世紀から20世紀に見られた菓子屋の店内を再現 2 当時の広告塔や商店のショーウィンドウ 3 ハンガリー貿易と観光博物館の外観 写真：© Fumie Suzuki



INFORMATION

ハンガリー貿易と観光博物館

Magyar Kereskedelmi és Vendéglátóipari Múzeum

1036 Budapest, Korona tér 1.

+36 1 375 6249

<https://mkvm.hu>

時間：火～日 10:00 - 18:00

休：月

入場料：1,500HUF

[ハンガリー・ブダペスト]

古き良き時代のホスピタリティーを感じる ハンガリー貿易と観光博物館

ブダペスト中心部から少し離れた3区に「オーブダ」という地区がある。ハンガリー語で「古いブダ」という意味だが、その地名の通り歴史は深く、ローマ帝国の古代都市アクインクムをはじめ、集合住宅の間や線路脇にも遺跡が点々と残っている。「ハンガリー貿易と観光博物館」は、同地区の昔ながらの建物が並ぶ一角にある。

1966年、飲食や観光など接客サービス業に関するコレクションを収蔵する、当時でもユニークな博物館としてブダペスト地区に開館し、2011年、オーブダに移転した。現在常設展では、19世紀から20世紀にかけて見られた一般家庭のインテリアや、レストラン、ホテル、菓子屋などの商店が、収集された家具や調度品、道具により丁寧に再現されている。

ヴェレシュマルティ広場にある老舗の菓子屋「ジェルボー」のオーナーだった菓子職人、エミル・ジェルボーについての展示の他、現在博物館となっている建物に実際に住んでいた詩人、クルディ・ジュラに捧げる部屋もある。廊下にはひと昔前の看板が掲げられていて、ハンガリーの街角のノスタルジックな空気が感じられ、時代を反映した美しいラベルやパッケージ、ボトルや箱、缶なども陳列されているので、アンティークやレトロなデザインが好きな人は時間を忘れて楽しめるだろう。

(鈴木文恵)

日本語対応だから安心。海外、及び国内引越、そして事務所の移転も私たちにお任せください

NXトルコ (旧・トルコ日通)

www.nipponexpress.com/moving/tr



Nippon Express (Istanbul)
Global Lojistik A.S.

Istanbul Dunya Ticaret Merkezi

A2 Block Kat 15, No: 444, 34149

Sevketiye Mh. Bakirkoy Istanbul Turkey

T: +90-212-465-6934 (内線: 15/19/20)

E: NETR-Removal.Istanbul.Mail.Group@nipponexpress.com

Italy



1「テル・ボーノ家」は中庭だけでなく邸宅の一部も公開 2 プレラ美術館のあるプレラ宮がガイドツアーの出発点 3 ミラノ市内だけでなく、郊外にも開放されるヴィラもある。写真は「ヴィッラ・ヴィタルバ」 写真：1 © 田中美貴、2・3 © Associazione Dimore Storiche Italiane



[イタリア・ミラノ]

普段は入れない歴史的建造物の中庭を公開

コルティーリ・アペルティ

INFORMATION

コルティーリ・アペルティ
Cortili Aperti

www.associazionedimorestoricheitaliane.it
2022年度の詳細はウェブサイトでご確認ください

ミラノの建物は、外側は質素で地味だが中は豪華絢爛なのが特徴といわれている。それは大仰に見せびらかすことを嫌うミラネーゼの性格を反映しているのである。旧貴族の邸宅などの有名な歴史的建造物さえも、門の中は見えない造りになっているので、周りの外観と溶け込んでいるものがほとんどだ。だが、実はその門を開けると美しい中庭が広がっている。

これらの歴史的建造物の中には、美術館や博物館となつて公開されているものもあるが、多くは現在も個人の邸宅として使われているため、普段、一般人は入ることができない。そんな中、ミラノでは年に一度（5月頃）、一部の屋敷が中庭を公開する「コルティーリ・アペルティ」というイベントが行われる。歴史的建造物協会の青年グループによって運営されているもので、予約すれば専門家が建造物の歴史を説明するガイドツアーに参加することもできる。また、クラシックカーや時計などの展示や、ミニコンサートなどが催されることもある。公開される屋敷は毎回異なるため、毎年参加しても新しい発見がある、人気のイベントだ。

第28回を迎える今年の詳細は未定だが、ロックダウンなどがなければ例年通り開催される予定だ。普通の旅行では入れない場所を見られる貴重な機会なので、リピーター観光客にもぜひお薦めしたい。（田中美貴）

イタリア海外引越

イタリア国内、欧州内はもちろん、
世界に広がるネットワークでお客様の海外引越をサポート

Nippon Express (Italia) S.p.A.
via Londra 12 Segrate 20090 (MI)

当社の引越しは
日本ではありません！

NXイタリア (旧・イタリア日本通運)

TEL: +39-02-21698-972

●事務所移転もおまかせ

www.nipponexpress.com/moving/it

NEIT-MILAN.REMOVALS@nipponexpress.com

[スペイン ● バレンシア]

完全燃焼される芸術を毎年作り続ける

火祭り職人、ラモン・セラノ氏

INFORMATION

バレンシアの火祭り
Fallas de Valencia

火祭り職人サイト：<http://valenciadecarntonpiedra.blogspot.com>

火祭りサイト：www.visitvalencia.com/fallas

期間：毎年3月1日～19日

(クレマは最終日19日の22時から)

料金：無料

毎年3月に開催されるバレンシアの火祭りでは、「ファジャス」と呼ばれる張子人形が街中に展示される。その数は、市内だけでも大小800に達し、街は一大テーマパークのようになる。巨大なものだと高さ30メートルにまで及ぶ。

ファジャスは火祭りの名にふさわしく、最終日の夜のイベント「クレマ（バレンシア語で「燃焼」の意味）」で燃やされる。芸術作品を故意に燃やすクレマこそが火祭りを世界的に有名にしているのだが、1年かけて作った作品が燃やされることについて、職人たちはどう思っているのだろうか。

火祭り職人のラモン・セラノ氏は、「作品が一瞬で灰になることに対してどう思うかとよく質問されるが、ファジャスは燃焼して初めて芸術として完結するのだ」と言う。「クレマで燃やすことで、次回はさらに良いものができる」と信じていること。火祭りの後に翌年の構想を練る楽しみ、ファジャスを通りに組み立てるときの興奮、そして燃焼する瞬間の美しさを目にしたときの高揚感といった一連の流れが火祭り職人としてたまらないという。

その火祭りも2020年は開催途中で中止。2021年は3月の開催は中止されたが、9月には規模を縮小して開催にこぎつけた。今年こそは例年通りに火祭りが楽しめることを祈るばかりだ。

(大田 朋子)

Spain

1 昔は木製だったファジャスだが、現在の主流は発泡スチロール製 2 日本語が堪能なラモン氏はガイドとしても活躍 3 ファジャスは美しく燃えることを想定して制作される 写真：© Ramon Angel Serrano Navarro



スペイン海外引越

スモールパッケージサービス（航空便・船便）

お問い合わせは日本語でお気軽にどうぞ。

E-mail: NEES-Removal@nipponexpress.com

NXスペイン公式 WEB サイトも是非ご利用ください。

www.nipponexpress.com/moving/es



NXスペイン（旧・スペイン日本通運）

Nippon Express de España, S.A.

[ドイツ・ドレスデン]

若者文化発信の場

クンストホーフパッサージュ・ドレスデン

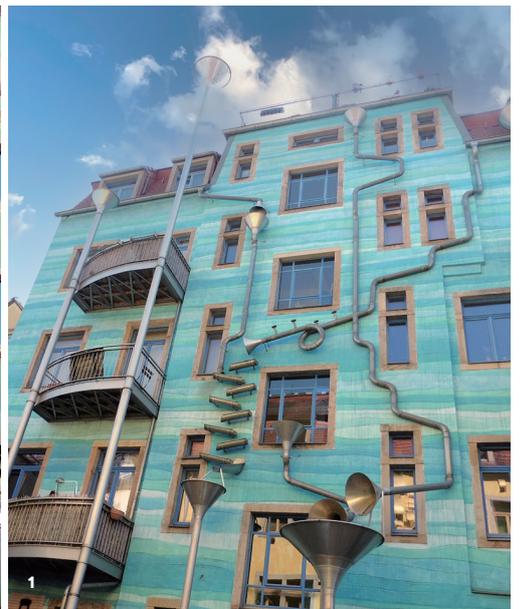
INFORMATION

クンストホーフパッサージュ・ドレスデン
Kunsthofpassage Dresden
 Görlitzer Straße 21-25/Alaunstraße 70,
 01099 Dresden
 www.kunsthof-dresden.de
 ※見学は午後がお薦め

旧市街に見どころの多いドレスデンだが、今回は、エルベ川の北側に位置するノイシュタット(新市街)のトレンド発信地「クンストホーフパッサージュ・ドレスデン」を紹介したい。5つの中庭と建造物は、それぞれ「動物、光、元素、神話、変身」をイメージしてデザインされている。例えば、「動物」がテーマの中庭には、アパートの壁に鳥が座っていたり、キリンの頭の上で猿が戯れていたりと、遊び心いっぱい作品が見られる。他にも、バルコニーには籐細工が施され、壁や階段のペイントは動物の生息地を思わせる。「元素」を担当したアーティストは、サンクトペテルブルクで見た雨桶パイプからインスピレーションを受け、外壁一面にパイプを設置したという。水は雨どいをつたい、水盤で受け止められる。目にも耳にも楽しいこの光景は、雨の日でも訪れる人々を魅了している。「変身」がテーマの中庭は一見普通の建物だが、暗くなると、壁に取り付けられた長さ15メートルの重厚な6枚のシールドが、隠されたプロジェクトによって照らし出される。パッサージュは2001年、荒れ果てた裏庭を再生するプロジェクトとして、地元建築家や芸術家により改装された。以来、若者文化が発信されるカラフルな空間として注目を集めている。旧市街と併せて、ぜひ訪れたいとっておきの場所だ。

Germany

1 外壁一面にパイプが設置された「元素」の中庭 2 アーティストの遊び心がうかがえる「動物」の中庭 3 クンストホーフパッサージュ入口のプラカード 4 「神話」がテーマの中庭 写真：© norikospitznagel



◆海外引越・欧州域内/国内/市内引越 ◆事務所移転 ◆倉庫保管

心で運ぶ
ルートライナー
 日通の海外引越

ヨーロッパ各国から日本へ
 他のヨーロッパ諸国へ
 そして世界へ
 From European Countries to Japan
 To Other European Countries
 And to the World

日本語でお気軽にご相談下さい。

「心で運ぶハートライナー」へのお申し込み・お問い合わせは、下記の支店・営業所まで電話かメールでお気軽に。
 Email. NEDE-HEAR.LINER@nipponexpress.com www.nipponexpress.com/moving/de

NIPPON EXPRESS NXドイツ
 (旧・ドイツ日本通運)
 NIPPON EXPRESS (Deutschland) GmbH

- デュッセルドルフ(+49) (0)211-90495-0
- フランクフルト/シュトゥットガルト(+49) (0)69-68974-584
- ブラハ(+420) 255-707-491
- ワルシャワ(+48) (0)22-878-3208
- ハンブルク/ベルリン(+49) (0)40-73112-194
- ウィーン(+43) (0)1-7007-35411
- プタベスト(+36) (0)29-553-807
- ミュンヘン(+49) (0)89-37426-353

Poland



1 かつて有名・著名人が滞在し、数々の逸話を残したグログベック城（現在は修復中） 2 ロジエのようなオツペルズドルフ家専用の祈りの席が設けられた「聖バルトミエヤ教会」 3 街の中心には地元経営の小売店も多く、散歩するだけで楽しい 写真：© Y.N.Sornek

[ポーランド ● グログベック]

教科書には載っていない歴史秘話と芸術の坩堝 フランシスコ修道院

INFORMATION

フランシスコ修道院
Klasztor Franciszkanów i Postulat w Głogówku
ul. Klasztorna 3 48-250 GŁOGÓWEK
+48 (77) 438 00 20
www.glogowek.franciszkanie.pl

人口約5千人という静かな街、グログベック。13世紀半ばにフランシスコ修道院が建てられたことから徐々に発展、後にこの地域で財力のあつたオツペルズドルフ家の統治下で華やかな歴史を歩むことになる。

17世紀には信心深い領主が教会や病院などを建てるだけでなく、当時聖母巡礼地として名高かつたイタリアのロレットにある「聖なる家」の精巧なレプリカを、3度の現地訪問を経て設置。これを拝もうと、周辺諸国からの集団巡礼は後を絶たなかった。

現在もこのレプリカを見ようと、多くの信者や観光客が訪れる。17世紀から使われていた鐘にも注目だ。大戦中は弾丸用にとドイツ軍に運び去られたが、戦後に原形のままドイツ国内で見られ、オツペルズドルフ家の子孫と街の努力で2001年、同修道院に戻された。

この街を訪れた歴史上の有名・著名人も少なくない。17世紀スウェーデンのポーランド侵攻時、ポーランド王が避難したのが当地の城だ。ここで王は国政に頭を悩ませていただけでなく派手な女性スキャンダルも起こし、それが詳細に記録されている。同様にこの城に滞在した作曲家ベートーベンもエピソードには事欠かなかったようで、いろいろと書き残されている。

芸術と歴史の裏話が満載のこの地は、一日かけてゆっくりと散策してもらいたい。

(ソルネク流 由樹)



安心できる引越しをサポート致します

ポルトガル海外引越



リスボン支店 TEL +351-21-842-9520 FAX +351-21-847-4973 担当 Miguel Estopa (英語可)

オポルト支店 TEL +351-22-947-9500 FAX +351-22-941-6791 担当 Maria João Fonseca (英語可)

日本語でのお問い合わせはNXスペイン (旧・スペイン日通) バルセロナ支店まで

TEL +34-93-552-2988 FAX +34-93-262-3130



Nippon Express Portugal, S.A

INFORMATION

モーリアック城

Château de Mauriac

Lieu dit Mauriac - 81600 Senouillac

+33 (0)5 63 41 71 18

www.tourisme-tarn.com/patrimoine-culturel/

chateau-fort-de-mauriac

城と庭園の公開日：毎日 15:00 - 18:00

(学業休暇シーズン) 日・祝 15:00 - 18:00

休：11月～4月

料金：大人 9€、団体と学生 6€、子ども 5€

[フランス ● タルヌ県]

テンブル騎士団ゆかりの一風変わった中世の城郭

モーリアック城

画家、ロートレックの生誕地として知られるフランス南西部オキシタニー地方のタルヌ県は、観光地や別荘地として人気が高い。珍しい品種のブドウで造られるガイヤックワインの生産地でもあり、アルビ派城塞都市群などの魅力的なスポットが点在する。今回ご紹介する「モーリアック城」は、同県のガイヤック丘陵地のご真ん中に聳える、数あるフランスのシャトーの中でもユニークな城だ。

遡ること8世紀、テンブル騎士団のギローデユス・ドゥ・モーリアックにより着工され、騎士団による工事が14世紀まで続いたが、その後16世紀の宗教戦争により当時の城主と共に大きなダメージを受けてしまう。21世紀に新城主となった画家、ベルナル・ピストが個人資金を投じて、50年もの歳月と労力をかけ、荒廃していた城郭は蘇生した。

オリジナルに忠実に修復された中世の城ではあるが、城内に足を踏み入れると、アジア圏に赴任していたこともあるピストの、どことなくエキゾチックな趣向がそここに散りばめられている他、ルネッサンス期のパステル交易の恩恵に預かった影響も見られる内装に不意をつかれる。ガイヤック丘陵に臨むロマンティックな庭園にはシャンブルドット[※]もあり、結婚式やセミナー会場としても利用できる。ガイヤックワインやタルヌグレルメとセットで、お出かけの行先にお薦めしたい。(兒玉ゆきこ)

※シャンブルドット：フランスのベッド・アンド・ブレイクファスト

France

1 広がるガイヤック丘陵の眺め 2 中世の城郭らしい威厳ある重厚な外観 3 細部にわたり伝統的様式に忠実に修復された 4 時折遭遇する、意表をついた異国趣味のデザインも見どころの一つ 写真：© 兒玉ゆきこ



引越は私たちにお任せください。

ベルギー海外引越

お問い合わせは下記までどうぞ

www.nipponexpress.com/moving/be
 TEL +32 (0)2 751 7814 FAX +32 (0)2 751 9246
 E-MAIL: NEBE-removal@nipponexpress.com
 Bedrijvenzone Machelen Cargo 738/1
 1830 Machelen, Belgium

NEX Nippon Express Belgium N.V.
 NIPPON EXPRESS NXベルギー (旧・ベルギー日本通運)



今月の1本



Grifalco, Damaschito Aglianico del Vulture Superiore DOCG

グリファルコ、ダマスキート・アリアニコ・デル・ヴルトウレ・スペリオレ DOCG (赤)



イタリア半島の南部に位置するバジリカータ州。その9割を内陸部の山岳・丘陵地帯が占め、北部にある死火山ヴルトウレ山(標高1326メートル)の、約80万年前に噴火した堆積物が土壌の基盤を作っています。内陸部の気候は大陸性で日照量が多く、気温は日較差、年較差が大きい。特にブドウ畑は高標高(200~700メートル)にありそれらが顕著で、酸のしっかりしたブドウが育ちます。

主に栽培されるブドウ品種は赤ワイン用のアリアニコ。晩熟でゆっくり熟成することでポリフェノールが増えタンニンが多くなり、長熟向きワインとなります。

このブドウ100%で造られる、アリアニコ・テル・ヴルトウレDOC(原産地呼称、1971年指定)のワインは、スマレの花、黒系果実、タバコやハーブの豊かな風味に火山性土壌のミネラルも加わった厳格なスタイル。

法定熟成期間1年。2年以上熟成させたスペリオレはDOCG(より厳しい規制の統制保証原産地呼称)に昇格しています(2010年)。

今回ご紹介する造り手は、この土地とブドウに惚れこみ、トスカーナで築き上げたワイナリーと名声を捨てて移住してきたグリファルコ。産地の中心ヴェノーサ村で2004年に立ち上げ、現在は2代目のロレンツォ氏とアンドレア氏の兄弟が運営しています。土壌の異なる4つの畑で合計16ヘクタール(無農薬栽培)を所有し、今回のワインは、特に重要な畑2つのうちのひとつ、マスキート(2ヘクタール、標高580メートル)のブドウを使ったもの(樹齢60~80年)。赤色の粘土質がワインに柔らかさを与え、大樽で18~24カ月、瓶で12カ月以上熟成させることで、力強さと深みも増します。

色合いは深く濃いガーネット。イチジクのジャムに、バニラやシナモン。スマレや野バラのポプリに焚火の残り火。真っ赤なイチゴをマッシュしあふれてくる酸味を、ベルベットのタンニンが甘く包み込みます。まろやかで慈愛に満ちていますが、心臓からどくどくと流れ出る温かい血を口にするような、生々しい生命力も漲っています。そして、鉛のようにずしんとくるアルコール感。それらすべての要素は、時間と共に研ぎ澄まされ、高次元へと昇華してゆき、そのままどこか遠い、遥か彼方へと羽ばたいてゆく。

2015年もの(30€)は、これから10~15年をかけて削ぎ落され、その強靱な骨組みがあらわになっていくのを見ていきたいワインです。(鈴木 かつみ)



【生産地】
イタリア・バジリカータ州

【ブドウの品種】
アリアニコ100%

【ワインひとくちメモ】
イタリア南部のアリアニコは、北部のネッピオーロ(パローロ、バルバレスコ)、中部のサンジョヴェーゼ(キアンティ、ブルネツコ)に続き、イタリア第3の高貴品種と呼ばれることも。古代ギリシャが起源ともいわれるアリアニコは、バジリカータ州と隣のカンパーニア州(タウラージ)が2大産地となっています。

イギリスで学ぶ
様々な文化交流活動を通して
歴史に裏打ちされた真の国際教育を実践

本格的ICT化
一人一台のラップトップ
全教室にインタラクティブボード
校内全域Wifi完備

**オンライン個別相談
随時実施中**
詳細は、本校ホームページ
入学試験情報>学校説明会情報

RIKKYO SCHOOL IN ENGLAND
立教英国学院

Guildford Road, Rudgwick, West Sussex RH12 3BE
Tel: +44(0)1403 822 107 Email: eikoku@rikkyo.uk
詳しくはHPをご覧ください。 www.rikkyo.co.uk

- 小学部5年から高等部3年まで、男女共学・全寮制
- 自然に恵まれた広大なキャンパス
- 徹底した少人数教育によるきめ細かい指導
- 日本の教育とイギリスならではの英語教育を両立
- 希望者は各学期ケンブリッジ大学での研修可
- イギリスの大学への進学も積極的にサポート
- 立教大学に約半数が推薦入学、他大学推薦枠も多数

充実した異文化交流プログラム
地元 Collyer's Collegeとの教育連携、Cambridge大学研修、UCLロンドン大学研修、Cambridge大学Science Workshop、年3回のHome stay、現地校短期留学など。

急な海外赴任の場合には、編入学についていつでもご相談下さい。



なるほど! ヘルシーライフ

Vol.33

ブロッコリは好き？

日頃から積極的に取り入れたいスーパー・グリーン野菜。
その一つに数えられるブロッコリは、免疫力の強化などに優れ、
つぶつぶとしたつぼみの部分に有効成分が凝縮されています。

< Text by 徳永 ゆり子 >

マクロの栄養素

ブロッコリは野菜類の中でもタンパク質が豊富なグループに入るため、血糖値やホルモンバランスの安定に役立つといえるでしょう。血糖値の安定は、間接的に自律神経や腸の健康もサポートするため、全体のコンディションを整えるのに有効です。



ブロッコリ 1 カップあたりのタンパク質は約 4g。タンパク質は足りなくても多すぎても健康を脅かすものとなるので、1 日の大まかな総摂取量を把握するのが理想的です。通常の運動量で体重 × 0.8g / 1 日が目安で、特に激しい運動をする際には運動量に合わせて 1 ~ 2 割多めに摂取することをお勧めします。

硫黄成分が肝機能をサポート

一般的にアブラナ科に属する植物（ブロッコリはもちろん、キャベツやカリフラワーなど）には、硫黄が含まれています。硫黄は、肝臓内で毒素やステロイド系ホルモンなどの代謝に必要とされるため、ホルモンバランスの乱れで生理のサイクルに合わせて顎回りに吹き出物が出る女性には、ブロッコリを中心に日頃から硫黄分を含む食品各種を摂取するのがお勧めです。硫黄を含む食品は肝機能の

サポートに有効ですが、適量を保つことも大切なので、その他の野菜も合わせながら幅広く摂取するのが理想的です。

ファイトケミカルの力

ブロッコリが人気を博している理由はファイトケミカル（植物性化学物質）の存在なくして語ることはできません。例えば、発芽したブロッコリの種に最も多く含有されるスルフォラファンは、免疫機能をサポートし、抗癌作用も持つパワフルな物質として知られています。同様に、ブロッコリ（つぼみ部分）に多く含まれている有効成分のインドール3 キャビノールやその代謝物の DIM（ジンドリルメタン）は、肝臓内でエストロゲン（エストラジオール/E2）などの代謝をサポートします。エストロゲンのバランスが崩れている場合の調整には、これらの成分を抽出したサプリメントも重宝されています。日頃の食事によるサポートの場合、有効成分が植物の細胞内にあるため、細胞壁部分をしっかりと噛み砕いて、その中にある成分を吸収できる状態にする必要があります。

クロロフィルなど緑色を構成する色素も健康促進に有効です。ケールやほうれん草などと共に「スーパー・グリーン」にも加わるブロッコリ。スムージーや野菜ジュースにも使われていますが、その他のアブラナ科植物同様に甲状腺機能を低下させるゴイトロゲン食品なので、生での摂取は時折程度にしておきましょう。

欧州生向けオンラインコース新学年度開講中!

～帰国枠入試に合わせた充実したコース設定～

<開講コース>

- 小1～小6 【標準コース】 国語・算数
- 小4～中3 【受験コース】 国語・算数/数学・英語・理科・社会
- 小6 【受験基礎コース】 国語・算数・英語
- 中3～高3 【高校部コース】 数I～数III・小論文・英文翻訳
- オプション 難関中対策算数、難関高対策英語、英検対策(2級、準1級、1級)
- その他 【英語個別指導コース】 インター校の英語ほか教科指導

体験授業実施!

ご希望の方は、ホームページの「無料体験授業」欄よりお申し込みください。

*各クラスとも定員になり次第締め切らせていただきます。
*授業の日時、コース詳細やお申し込み方法などはホームページにてご確認ください。



JOBA International London 1F Lawford House, Albert Place, Finchley, London N3 1QA U.K.

Tel: +44 20 8343 4332 joba-uk.jolnet.com

（ヨーロッパでの暮らしの中で不思議に思いつつ、人に聞けなかった“素朴な疑問”に答えていくシリーズ）

ど存じですか？

30



自動車の歴史

毎日の生活で、通勤や買い物、学校の送り迎えなどに車を使っている人は多いと思います。日々の生活に欠かせない自動車ですが、その歴史はどのようなものなのでしょうか。今回は自動車の歴史をたどってみましょう。

世界初の自動車は、蒸気機関が動力の蒸気自動車でした。1769年に、イギリスのジェームズ・ワットが蒸気機関の改良を行って実用化を果たした一方で、同じ頃、フランスのニコラ＝ジョセフ・キュニョーが蒸気三輪車を発明しました。もともとは軍隊の大砲を運搬するために造られましたが、運転が難しかったそうで、試運転の際に壁にぶつかって、世界初の交通事故を起こしたことで知られています。

ガソリンとディーゼルで走る自動車が開発されたのは19世紀に入ってからで、1885年頃にガソリンエンジンで走る自動車がドイツで生まれました。ゴットリーブ・ダイムラーとヴィルヘルム・マイバッハのチームと、カール・ベンツがそれぞれガソリンエンジンを動力とした車両を発明。1926年にベンツ社とダイムラー社は合併し、ダイムラー・ベンツ社（ブランド名はメルセデス・ベンツ）が生まれました。

富裕層などの特権階級だけが所有できた自動車が大衆化されたのは、20世紀のこと。米国人のヘンリー・フォードが創設したフォード社が、1908年にベルトコンベアーを使った流れ作業により「フォードT型」の量産を始めたことで、自動車が低価格で購入できるようになりました。1日に1000台を超える数を生産し、総生産台数は1500万台以上にのぼったといわれます。

日本では、1907年に国産第1号のガソリンエンジンの自動車が生まれました。この車は、ガタクリガタクリ走ることから「タクリー号」と呼ばれていたそうです。その後、1960年代に入ると量産体制が確立されて、日本車が世界をリードするようになり、自動車は日本の基幹産業に。1980年代には日本の自動車生産台数が世界第1位になりました。

2000年代に入ってから、ハイブリッド車や電気自動車、燃料電池車などエコカーが注目されるようになり、最近ではヨーロッパ各国で、将来的にガソリン車・ディーゼル車などの新車販売を禁止する法案が相次いで発表されています。（名取 由恵）

JSTV インターネットで簡単視聴！

海外でも日本のテレビを見たい！

7日間や1ヶ月毎の契約もあるよ！

安心して楽しめる合法的なサービスです
NHK、民放、各種権利団体から正式に許諾を受け放送しています

お申込みは
今すぐ！

www.jstv.co.uk

NHK CosmoMedia Europe

主演 菅田将暉

フジテレビ系ドラマ
ミステリと
言う勿れ 3月スタート予定

真実は一つじゃない、
人の数だけある。

大河ドラマ
鎌倉殿の13人
毎週日曜放送

おがあさん いっしょ
毎週月～土曜放送

©NHK

私と家族の大切な荷物だから、実績のある日通に頼みたい。
丁寧に、真心こめて。
お客様第一の日通です。

忙しいご帰国前こそ、NX (旧・日通) にお任せください

帰国前のご多忙な時でも、慌てる必要はありません。NXは、梱包からお引越先でのお荷物搬入までお客様に代わって作業いたします。

日本での引越も

NXグループがお世話致します

ヨーロッパから日本に着いたお荷物は、日本のNXグループの引越専任スタッフが責任を持って配達いたします。
東京、名古屋、大阪(神戸)、福岡の各支店から日本全国にお届けします。

日本人スタッフの立会いで安心度満点

引越では作業完了まで必ず日本人スタッフが立会い、梱包状況を確認するなど作業を指揮いたします。

目的に応じた梱包資材をご用意

衣類用のハンガーカートン、ゴルフカートン、ワイン用カートンをご用意しています。それぞれに最も適した梱包資材で運ぶことによって、お荷物をいたわります。

各国内引越・欧州内引越も承ります

海外引越だけでなく、各国内引越、欧州内引越、家財保管もご安心してお任せください。

きめ細かなサービスが自慢です

日本のご実家にお荷物を残して赴任されていた場合、帰国後の日本での引越に先立ちNXがご実家へ下見に参ります。引越の際はご実家からのお荷物と海外から送られてきたお荷物が同日に着くようにも手配いたします。

**引越のご用命は
次の事務所へどうぞ**

- イギリス (国番号 +44) / アイルランド
ロンドン & グラスゴー、ダブリン
.....(0)20-8737-4200
マンチェスター(0)161-436-7500
ニューカッスル(0)191-519-7950
イーストミッドランド
.....(0)1332-850-770
- イタリア (+39)
ミラノ02-21698-972

- オランダ (+31)
アムステルダム(0)20-5005200
- スイス (+41)
チューリッヒ(0)44-836-9966
ジュネーブ(0)22-929-0310
- ドイツ (+49)
デュッセルドルフ(0)211-90495-0
フランクフルト & シュトゥットガルト
.....(0)69-68974-584
ハンブルグ(0)40-73112-194
ミュンヘン(0)89-37426-353
- オーストリア (+43)
ウィーン(0)1-7007-35411

- フランス (+33)
パリ(0)1-4184-6350
- ベルギー (+32) / ルクセンブルグ
ブリュッセル(0)2-7517814/5
- スペイン (+34)
マドリッド91-748-0862
バルセロナ93-552-2986
- ポルトガル (+351)
リスボン21-842-9520
- ハンガリー (+36)
ブタペスト(0)29-553-807
- チェコ (+420)
プラハ255-707-491

- ポーランド (+48)
ワルシャワ(0)22-878-3208
- ケニア (+254)
ナイロビ(0)20-4938310
- トルコ (+90)
イスタンブール(0)212-465-6934
- アラブ首長国連邦 (+971)
ドバイ(0)4-282-0417
- ロシア (+7)
モスクワ(0)495-609-6023
サンクトペテルブルグ
.....(0)812-335-7626